

基礎・基本を定着させるために、言語活動に重点を置いた学び

【三郷市教育委員会】

- 1 学校・学年・教科： 小学校・全学年・算数科を中心として
- 2 ねらい：基礎的・基本的な内容を定着させ、思考力・判断力・表現力の育成を図る。

3 取組

(1) 学習過程と留意点

- ・導入：必要感に迫る問題提示を行う。
問題文を読解しながら、児童のつぶやきを吹き出しにして書き加え、課題をしぼるとともに、自力解決の糸口をつかませる。
- ・自力解決：教師は、児童の自力解決の状況を把握し、発表児童を決定するとともに、発表の順番及び練り上げの構想を練る。
- ・話し合い：自分の考えを隣の児童に聞いてもらう。
全体での話し合いは、思考の浅いものから深いものへと発表が流れるように組み立てる。
児童が発表する言葉を生かし、考えのよさに気づかせる。
(既習事項の定着に拘りながら、本時のねらいに迫る)
- ・まとめ：自分の言葉でわかったことをまとめさせ、理解の状況を確認してから、全体で教師がまとめて定着をめざす。

(2) 展開例

- ・導入(例：6年比例 7/17)

※ノートに吹き出しを書き、解決の方法を予想する。

【問題】

画用紙300枚を、全部数えないで用意する方法を考えよう

少しは数えることができる。
100枚数えて3倍する？
100枚数えるのは大変か？

数えなければいいのか？
計るのはOK!

何、計る？
重さ？厚さ？
はかりはあるのかな？

- ・自力解決 ※自分で考える時間(10分間)は自分と向き合わせる。



・ 話し合い

《ペア学習》 段階的に表現力を鍛える。

第一段階：自分の考えが言える。

第二段階：自分の考えと友だちの考えを比較しながら言える。

第三段階：友だちの考えに付け加えて、思考を発展させて言える。

《練り上げ》 聞く力を重点に、互いの意見交換の力を段階的に高める。

第一段階：自分の考えとのちがいに気づきながら聞く。

第二段階：考え方の共通点やちがいを比べながら聞く。

第三段階：共通している大切なことをみつけながら聞く。

**※ペア→（グループ）→全体へ を毎時間
繰り返す、自分の考えを伝える楽しさを
味わわせる。**



・ まとめ



※ 見つけた方法で適用問題を解く→自分の言葉でまとめる→先生とまとめる

本校の学びは、学校で学んだことを宿題として家庭でもう一度やってみて、保護者の見届けや確認後、次の段階へと進みます。

本校の合言葉「励まし合って学ぶ ○○っ子」本校では、見合い、聞き合い、認め合い、教え合いに重点をおいて授業を展開しています。